

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	教育庁社会教育課	氏名	松田 敏史
派遣先 団体名	宍道公民館		
① 研修の日時			
8月 7日 (月)	8:30～17:15	「夏休みチャレンジ研修」事前研修	
8月 8日 (火)	8:30～17:15	公民館窓口業務、研修の準備	
8月 9日 (水)	8:30～22:00	「夏休みチャレンジ研修」1日目	
8月10日 (木)	6:00～17:15	「夏休みチャレンジ研修」2日目	
② 研修の内容 (できるだけ詳しく記載してください。)			
○「夏休みチャレンジ研修」事前研修			
<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ研修参加者(宍道地区の小中学生)を対象に研修を通して身につけてほしい力など研修の目的・ねらいを共有するための研修を実施 ・「仲間作り」、「チームとしての自分の役割を認識する」ことを目的としたレクリエーションを通して、1泊2日の研修に向けてチームで課題(困難)に向き合い、乗り越えるための意識共有を行った 			
			
(研修の様子)			
○公民館窓口業務、「夏休みチャレンジ研修」の準備			
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用の窓口事務補助 ・チャレンジ研修に必要な物資等の準備 			
○「夏休みチャレンジ研修」			
<ul style="list-style-type: none"> ・国立三瓶青少年交流の家におけるチャレンジ研修にスタッフとして同行して研修中の参加者の健康管理、安全管理等のサポートを行った ・三瓶山サイクリング(1日目)、三瓶山登山(2日目)等の研修メニューを通して、参加者のねらいが達成できるよう活動の補助を行った 			



(サイクリング途中で記念撮影)



(三瓶山登山)

③ 研修の感想

宍道公民館が入っている建物は松江市役所宍道支所・子育て支援センター・公民館という3つの機能が集合している複合施設です。研修期間中だけでも様々な人の出入りがあり、宍道地域の人や情報が集まる場所になっているという印象を持ちました。

宍道地区では、公民館を核に地域の力も借りて、青少年育成に力を入れています。宍道リーダーズクラブという、中学生が主体となってボランティアや地域活動に参加する団体があり、その活動を地域の大人でサポートする体制ができています。今回、その一環として、小学校高学年と中学生との繋がりを深めるために実施された夏休みチャレンジ研修に関わらせていただきました。

三瓶山でのチャレンジ研修を通して、宍道地域の大人がそれぞれの得意分野を活かして、子どもたちの自主的な活動をサポートしているところに感心しました。本研修は参加した小中学生がそれぞれに「めあて(目標)」を持って活動に取り組み、振り返りを行うというサイクルでの研修でした。活動後の参加者それぞれの表情から、達成感・充実感を感じとることができ、こういった経験が参加者自身の今後の目標に何らかの形で繋がっていけば良いなと感じました。

短い期間でしたが、宍道公民館で研修させていただき、地域の大人が将来を担う子どもたちに次世代のリーダーになってほしいという思いで関わっていることがよくわかりました。一方で、こういった活動・意識を持続させていくということは、たくさんのエネルギーを使うことでもあるということを実感することができました。

今回の経験を今後活かしていきたいと思えます。

④ その他特記事項

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。